



横芝光町ボランティア連絡協議会通信 つながり

第25号

平成28年11月1日

発行：横芝光町ボランティア連絡協議会
(事務局：横芝光町社会福祉協議会)

〒289-1727 山武郡横芝光町宮川11902
TEL0479-80-3611 FAX0479-80-3651

研修会に参加して

～ 山武市社会福祉協議会で住民参加型在宅福祉サービス事業について学ぶ ～

8月10日、山武市社会福祉協議会にて、住民参加型在宅福祉サービス事業について学ぶ研修会が開催され、横芝光町ボランティア連絡協議会の会員30名は、町バスを利用して山武市社会福祉協議会に行ってきました。

山武市社会福祉協議会の越川さん、並木さんに「住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業」について、詳しく丁寧に説明していただき大変勉強になりました。

近年急速に進む高齢化社会には、一人暮らしの人が年々多くなっていきます。多くなればボランティアの人も、またたくさん必要になってきます。みんなの力で、困っている人や不自由な思いをしている方々に少しでも手を差し伸べ、助け合っていけたら良いのでは、と思っています。

私もまだまだ勉強不足で十分な活動はできませんが、少しでも協力できるように頑張りたいと思います。今後は協力し続けて行こうと思っています。

向後憲子



※住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業とは

町民の参加と協力により、援助を必要とする者に対し、日常の生活支援（買物や手続きの代行・住居の掃除・食事の支度・見守りや話し相手・外出付添い等）を行うサービスを提供するサービスです。

地域別ボランティア研修会

9月29日、大網白里市中央公民館を会場に地域別（山武地区）ボランティア研修会が開催されました。山武地区の5市町のボランティアが一同に会し、「明るく元気にボランティア活動～世代を超えて」のテーマで、活動の取り組みの発表がありました。

横芝光町からは、佐久間会長から、日頃の横芝光町の活動、派遣事業、無料ボランティアの発表。また、郡司さん、加瀬さんからは、フラダンス、舞踊を披露していただき、会場が一変する盛り上がりになりました。講演は、順天堂大学武井正子教授の「暮らしの中の運動は誰でも出来るロコモ予防」についての講話と、日常生活で動かせる簡単な運動と一緒に行いました。元気なスーパーオールド＝85歳以上 ミドルオールド＝75歳～84歳 ヤングオールド＝65～74歳元気で動く喜び、動ける幸せを大切に、ボランティア活動をされている人の笑顔に励まされながら、私は参加できる分野でボランティア活動を続けたいと思いました。



早川美津枝

束の間のふれあい、貴重な体験

～養護老人ホーム「光楽園」納涼会より～

去る平成28年8月6日（土）17時30分から社会福祉法人「光楽園」で平成28年度第8回光楽園納涼会が盛大に開催されました。今回、思いがけず光楽園納涼会のお手伝いのお話をいただき喜んで参加させていただきました。以前に一度お手伝いに伺ったことがありましたが、新しい施設になってからは初めてで少し不安もありました。しかし、入所者の皆さん、スタッフの皆さんの優しい笑顔に触れ、自然と一生懸命頑張ろうという気持ちがあふれてきました。

早速、開会前のお手伝いとして、入所者の方を一人ずつ決められた番号のテーブルへお連れしました。施設から外のテーブルへ車いすを押したり手をもって寄り添ったり、心地よい海風を受けながら全てのテーブルに着席完了。

いよいよ開会です。私は、1番と2番のテーブルの担当になり飲み物や食べ物を運んだり、ごみを捨てたり、ピンゴ等のお手伝いをしました。楽しまれている入所者の皆様のお手伝いに幸せを感じたひと時でした。ありがとうございました。



川島富士子

山武地区身体障がい者福祉会スポーツレクリエーション大会にボランティアを派遣

9月30日、九十九里町中央公民館を会場に山武地区身体障がい者福祉会スポーツレクリエーション大会が開催されました。横芝光町ボランティア連絡協議会から4名のボランティアを派遣し、競技の手伝いに参加しました。



案ずるより産むが易し

初めてのボランティア、それは妻の一言から始まった。

「一緒にボランティアに参加しない？」

「何のボランティア？」

「身体障がい者スポーツ大会のお手伝いだって。」

最初、少しハードルが高いなあ、私にできるかなあと腰が引ける思いがした。しかし定年して退職して、今は時間はある。今まで仕事を口実に、地域との関わりを殆ど持つことがなかったし・・・少しは社会活動をしてみようかなと考えたのが、ボランティア参加への経緯である。

当日、少々緊張しながら会場に行ってみると・・・合流した先輩ボランティアのお二人からの、「心配しなくても大丈夫。言われたことをやっていただければいいですから。」との心強い言葉に、少し安堵した。

会場に入ると、障がい者の方々が生き生きとスポーツに参加する姿を目にすることができた。あまり障がいを感じられない方、杖をついている方、車椅子を利用している方、それぞれだ。まずは、私にもお手伝いできそうなことから始めた。どうやら大丈夫そう。すると、これまで気負っていた自分から解放された気分になった。さらに障がい者の方々と昼食を共にする中で、皆さんと話す機会もあり、私も一緒に体を動かす事ができたので自分自身にとっても良い運動になった。

初回にしては、まあまあかな？と、恥ずかしながら甘い自己評価である。まさに案ずるより産むが易し！だ。

毎回参加するのは難しいとしても、また機会があればできるだけ参加しようと思う。今回参加の機会を与えてくださった皆さんに感謝したい。

吉祥苑秋祭りにボランティアを派遣

10月15日に特別養護老人ホーム「吉祥苑」の秋祭りの手伝いにボランティア連絡協議会から7名が参加しました。

ボランティアに参加して・・・

かねてからボランティア活動への興味はあった私ですので、佐久間会長からのお誘いを喜んでお受けすることにしました。タイミングよく、定年退職を迎えた夫も誘い、一緒に登録させて頂きました。今では、ふたりとも参加することができて良かったと思っています。

先日、自身二度目のボランティア参加～吉祥苑の秋祭り～を終え、私が感じたのは、その団体や行事に携わるスタッフの熱意と行動力と心の温かさです。今夏92歳になった私の実母と容姿が重なったこともあり、入居者の方々とのふれあいも貴重な経験でした。実際に関わってみて、私たちのようなボランティア参加者にとって大切なことは何か、と考えると…それは参加者の皆さんから何を求められ、私たちは何をお手伝いすればよいのかを確認しながら動くことではないでしょうか。そして、会場では担当者からの支持を仰ぐことが大切だと感じました。更には若い人達にももっとボランティア参加をしていただけたら心強いな…とも感じました。

そんな中、気付いてみればとても楽しい一日を過ごしている自分がいました。感謝です。

三人の子供たちが、それぞれの家庭を持ち、親の役目も一段落。思えば、私達夫婦も周囲の方にお世話になってきたのだと痛感します。今度は、人のために何かできれば、第二の人生に生きがいや喜びが増すことと思います。

まだまだ新米ボランティアですが、私にできることがあれば、今後も積極的に参加させていただきたいと思っています。

ボランティア会員の皆様、今後も夫婦共々よろしくお願い致します。



大川戸なおみ

アルミ缶回収のお願い

日時 毎月 第2, 3, 4金曜日 13:30~16:00

場所 社会福祉協議会ボランティアルーム

(注) 缶は、つぶして袋に入れて下さい。皆様のご協力をお願いします。